

## ヒエガエリ (稗返り)

名前の意味：稗<sup>いみ</sup>が野生状態<sup>ひえ やせいじょうたい</sup>に戻った<sup>もど</sup>ように見えるという意味。本当は別の種類であり、ヒエが野生<sup>もど</sup>に戻ったものではない。

分類：単子葉類、イネ科、ヒエガエリ属

(イネ科の栽培植物<sup>さいばいしょくぶつ</sup>：イネ、コムギ、トウモロコシ)

好きな場所：日当たりのよい道ばた

分布：本州、四国、九州

原産地：昔から日本に生えていた (自生<sup>じせい</sup>)

特徴：1カ所から斜<sup>なな</sup>めに立ち上<sup>た</sup>がる茎<sup>くき</sup>、穂<sup>ほ</sup>はノギ(針<sup>はり</sup>のような毛)のため<sup>め</sup>にふさふさして見える。

種子の運ばれかた：そのまま地面に落ちる

花弁の数：2枚 (小さくて目で見てもよくわからない)、離弁<sup>りべん</sup> (花びらが1枚ずつ散る)

花の時期：8－10月

食べ方：食べられるけれどもおいしくない

見分け方：エノコログサは、穂<sup>ほ</sup>が毛虫状に見える。ヒエガエリは小穂が集まっているが、枝があることがよくわかる???

見つけやすさ ★★★

見分けやすさ ★★★

総合難易度 ★★★

(★が多いほど量が少なく、見分けにくく、難易度が高い)